

ターンテーブルの運営について

首都圏における徳島の情報発信と交流の拠点であるターンテーブル施設について、次のとおり次期5か年の運営を行います。

1 施設の賃貸借契約について

（1）建物資産管理者（賃貸人）

Japan.asset management株式会社

（2）賃料（税込み）

年額46,200,000円（対前契約額 ▲4,717,776円）

2 施設の転貸借契約について

次期運営予定者（転借人）

株式会社TurnTable

3 契約期間について

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）

4 次期運営に係る内容について

（1）施設利用者数等の見込み

年度	施設利用者数 (人)	交流イベントの 参加者数 (人)	飲食物販の直接 売上額 (千円)	県産食材の直接 仕入額 (千円)
R 4	50,000	500	51,000	15,840
R 5	64,000	3,000	57,000	16,980
R 6	64,000	3,000	57,000	16,980
R 7	71,000	15,000	102,000	29,580
R 8	73,000	18,000	104,000	29,960

※見込みに当たっての考え方

- ・令和4年度はコロナ禍の経済的影響が続く
- ・令和5、6年度は、飲食事業において一定の経済回復を見込むものの、インバウンド需要の多いホステルは回復が鈍くコロナの影響を受ける
- ・令和7年度以降、コロナ感染の収束及び経済が回復する

(2) 主な取組み

- ・全ての料理に県産食材を活用するとともに、旬に合わせたメニューフェアの開催やテイクアウトの開発など、一般消費者が訪れる度に新しい「徳島の食」を発見できる機会を創出し、リピーターの増加に繋げる
- ・近隣飲食店等の仕入れ場所としてマルシェの利用促進やE Cサイトの充実を図り、オンライン上での県産品の販売拡大に繋げる
- ・マルシェ販売とレストラン提供において、食材を有効活用することにより、食品ロスを減らし、環境に配慮した事業展開を図る
- ・県内産地を積極的に訪問し、生産者との繋がり拡大を図り、新たな食材や商材の発掘、消費者ニーズに対応した商品開発等を行う
- ・首都圏と徳島の営業機能の拠点となって、首都圏の飲食店と県内産地を結ぶ商談会等を開催し、県内生産者の販路拡大に繋げる
- ・運営事業者が構築した「徳島ゆかりの飲食店」ネットワークや近隣の飲食店と連携し、県産食材を使った「合同フェア」を開催することにより、「徳島食材」の価値発見やPRに繋げる
- ・メディア等へのアプローチによる撮影ロケーション誘致や自社SNSを活用した積極的な情報発信を行い、新たなファンの獲得、徳島の食体験に繋げる
- ・宿泊することで徳島体験に繋がる機会を創出する
- ・県内市町村やDMO等と連携し、宿泊者への観光等の情報提供や徳島へ送客に繋がる仕組みを構築する
- ・コロナの状況を踏まえ、阿波文化体験など徳島ゆかりのイベントを実施し、関係人口の増加に繋げる

<参考>

- ・収支の見込み

年度	飲食物販売上(A) (千円)	宿泊売上(B) (千円)	費用合計(C) (千円)	経常利益合計 (A+B-C) (千円)
R 4	51,000	20,000	72,200	▲1,200
R 5	57,000	23,000	82,000	▲2,000
R 6	57,000	23,000	82,000	▲2,000
R 7	102,000	93,000	179,200	15,800
R 8	104,000	96,000	181,400	18,600

※見込みに当たっての考え方

- ・令和4年度はコロナ禍の経済的影響が続く
- ・令和5、6年度は、飲食事業において一定の経済回復を見込むものの、インバウンド需要の多いホテルは回復が鈍くコロナの影響を受ける
- ・令和7年度以降、コロナ感染の収束及び経済が回復する